

7年目の小学校出張講座 ～最初の子らは高校生

副代表 馬場 幸子

津市も日本列島の合併の波に乗り、随分広域になりました。小学校数は57校に増え、子供たちも学ぶ内容が非常に多くなり、谷川士清を勉強の対象にしてくれる学校が果たして何校あるか不安でしたが、出張講座の依頼があった学校は13校、旧宅まで学年単位、あるいはクラス単位で来て、会員がガイドをした学校も5校ありました。夏休み冬休みに親子で旧宅を訪れ、熱心に自由研究に取り組む姿も連日見受けられ、市内の小学校の先生方に士清の名前が大分知られてきたのだなど、私たちの活動の成果が少しずつですが上がって来たことを嬉しく思います。

「谷川士清は皆さんが住んでいる津市八町で生まれ、医者の仕事をしてながら洞津谷川塾を開き、弟子を教えながら国学の研究をし『日本書紀通證』を完成した後、日本で初めて言葉を五十音順に並べた国語辞典『和訓栞』を編集しました。このような郷土の偉人“ことすがさん”を大勢の人に知らせてくださいね」と、このように話した最初の小学校4年生は、早くも高校生になっており、きっと級友に自慢げに話してくれていると期待しつつ、新会員の皆様と研鑽を積んでいます。

18年度谷川士清出張講座

初めての講師～奥田栄子さんの感想

「みんな興味を持って話を聞いてくれたのがうれしい。高茶屋では最近外国人の子どもの出入りが多いという先生の話だった。豊が丘は教育熱心な保護者が多い団地の中の学校で、関・亀山に近いところだった。

今年は士清旧宅で～親子洞津谷川塾～

津市文化課主催、谷川士清の会とあの津っ子の会共催で、今年は谷川士清旧宅で小学校4年から6年の児童と保護者22名を対象に実施。総司会は馬場。

日時：8月6日（日）午前中。会場：谷川士清旧宅

日程と内容

- 9：15～ 開会挨拶（萱室文化課長、森代表）
- 9：30～ 講話「士清の業績について」（別所勝）
- 10：00～ 怪談紙芝居（士清創作の『野狐名玉』より、「あの津っ子の会」が制作したものを上演）
- 11：40～ 2班に分かれて会員が現地案内（旧宅では士清の業績をパネルで説明、顔の掛け軸（模写）や著書の版本など見学後、反古塚、士清の墓などへ）

月 日	小学校名	講師名（補助者）
10/4	雲 出	馬場 幸子（奥田）
10/24	新 町	馬場 幸子（別所富）
10/26	上野（河芸）	別所 勝（熊谷）
11/16	西 が 丘	佐野萬里子（奥田）
11/24	育 生	竹内 令（吉川）
11/28	神 戸	森 晋（別所富）
12/2	南 立 誠	竹内 令（別所富）
12/5	高 茶 屋	奥田 栄子（竹内）
12/11	豊 が 丘	奥田 栄子（馬場）
1/16	草 生	馬場 幸子（奥田）
1/16	高 野 尾	塚澤 洋（別所勝）
2/2	三 重 大 附	馬場 幸子
2/20	北 立 誠	別所 勝（井田）

◆士清まつり 5月10日（水） 谷川神社例祭当日

- *お茶会 「昼過ぎより雨」の予報で、福蔵寺の中で行なう。延べ98人参加。
- *旧宅周辺史跡めぐり 10時旧宅出発。16人参加。
- *士清ソーレ 11時 豊利津会の皆さんが谷川神社前で踊ってくださった。
- *展示会（旧宅で、士清自筆扇面のコピーと前年度から延期されていた第6回谷川士清絵画作文コンクールの入賞作品を展示（下記）

◆5月13日（土）第6回谷川士清絵画作文コンクール表彰式

津市の広域合併で例年2月のコンクールが遅れ、再募集応募作の中から審査。表彰式がやっとこの日に。

（絵画の部） 士清大賞 橋南中2年 古谷朱里 ・教育長賞 南が丘小6年 福島 藍

特選 井須活水（豊里中2）・姉崎信（付属小6）

入選 堀 礼人（榊原2）・塩崎真央（新町2）・前川さり（西が丘3）・勢力郁佳（南立誠4）

石川奈津実（一身田小5）

（作文の部） 教育長賞 新町小5年 堀真優子 ・士清賞 新町小5年 伊藤莉子

入選 国森真菜実・田中沙貴・一志光希・後藤奈々（全員新町小5）